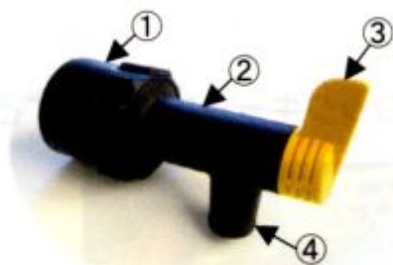


# コックくん取扱い説明書

● P type ・ B type ・ SUS type 共通

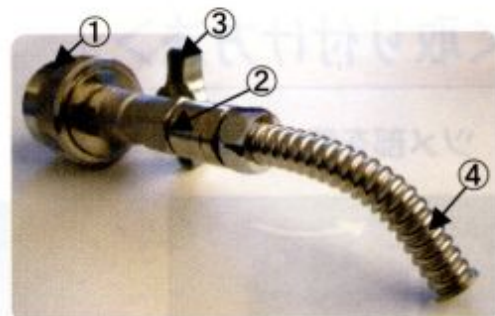
構成部品と名称



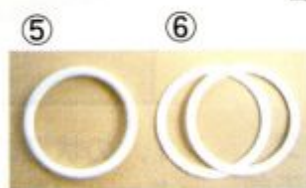
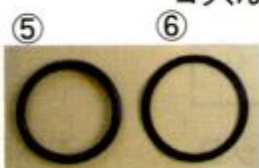
コックくんPタイプ



コックくんBタイプ



コックくんSUSタイプ



SUSタイプ付属

- ① 取り付け用ロックキャップ
- ② パルプ本体
- ③ 開閉レバー
- ④ 吐出口
- ⑤ Oリング (1個セット済み)
- ⑥ 調整用スペースパッキン (付属品)
- ⑦ エア穴キャップ・ポンチセット (オプション品です SUSタイプには付属)

ドラム缶用アダプター、樹脂缶用(出光仕様)アダプターもございます。

使用適用液体	Pタイプ	Bタイプ	SUSタイプ
一般工作油、切削油、研削油、加工油など	○	○	○
マシン油、スピンドル油、エンジンオイル、油圧油など	○	○	○
潤滑性のある液体、洗剤、クリーナー、食油など	○	○	○
潤滑性のない液体、水、クリーナー、洗剤液など	×	○	○
アルコール、エタノール	×	○※	○
シンナー、トリクレンなど有機溶剤	×	×	○
石油、ガソリンなど揮発性のある液体	×	×	×

※Oリングをバイトン仕様にて可

## ⚠ 注意

- ・石油、ガソリンなど揮発性油関係には使用できません！安全上使用不可。
- ・缶に取り付けた後、過度な衝撃を加えますと外れることがあります。衝撃には十分気を付けて下さい。また、外れたコックくんは使用しないで下さい。
- ・落下させるとツメが曲がったり破損しますので十分注意して下さい。
- ・コックくんを取り付けると缶が密閉状態となりますので缶上部に空気穴を開けて下さい。(専用キャップ・ポンチ有り、上記⑦参照)
- ・使用中にガタが出てきた場合は使用を中止して下さい。
- ・事故防止の為、自分で分解、修理は行わないでください。
- ・長期間使用しない時は容器を立てて保管して下さい。
- ・万一の流出防止の為、流出防止用オイルパンを使用して下さい。

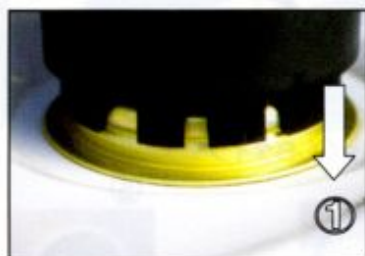
## <取り付け方法>

1. ツメ部を露出させる。



本体を図の様に持ち、ロックキャップを①左へ回して②手前へ引き、ツメ部を露出させる。

2. 缶の口金の溝部へ差し込む。



1. の状態のまま（ロックキャップを手前に引いてツメ部を露出させた状態）で、ツメ部を口金の溝部へ差し込む。

3. ロックキャップで固定する。



本体を支え軽く下へ押し込みながら**ロックキャップを①下側へ押し込む**と同時に②の方向（右回り）に回してロックする。  
**ロックキャップのみ押し込むこと。本体は支えているだけで一緒に押し込まないこと。**

注：ツメ部をはめ込む時、**口金部に垂直に差し込むこと。**  
極端に斜めに入れるとツメ部が破損することがあります。  
**ツメ部が露出していないと取り付けできません。**

## <取り外し方法>

※取り付けと逆の手順ではずせます。

①ロックキャップを左に回しながら上へ引き上げてツメ部を露出させる。

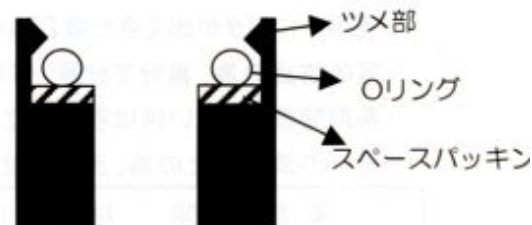
②本体を少し斜めに傾けながらゆっくりと上へ引き上げてツメ部を溝部よりはずす。

注：**ツメ部が露出していないとはずれません。**

## 注：Oリング調整用スペースパッキン

スペースパッキンについては**通常は使用する必要はありません。**  
缶の口金寸法にはバラツキがあります。缶によっては口金とコックン取り付け部にゆるみが生じ、液がにじみ出る（液漏れする）場合がございます。にじみが生じた場合は右図のようにスペースパッキンで調整して下さい。

- ・取り付け後、缶口金とコックンの隙間にはコックン本体を手で回転出来る程度の余裕がありますがにじみ、漏れの問題はありません。
- ・にじみや液漏れが生じた場合のみ使用して下さい。
- ・缶口金の個体差により後で必要となる場合がございますので**大切に保管しておいて下さい。**



装着部断面図(ツメ部分)

**※必ずOリングの下へ入れること。**